



吉田 憲 市 議員

優良牛導入補助金は

町長 児湯農協と 一体となつて

問 肉用牛増頭対策事業補助金が、本町では一頭あたり5万円。他市町村は10万から20万円となっており、他市町村と同等の補助を実施し、優良牛の保留に努めるべきではないか伺います。

答 優良な繁殖素牛の導入にかかる費用の一部助成については、これまで一頭につき15万円を限度に助成していましたが、今年度は限度額を30万円に引き上げ、肉用牛事業者の生産基盤強化を図ることとし、児湯農協と一体となり同等補助を実施し、生産基盤の強化に努めます。

問 金婚米寿祝賀会の廃止について伺います。

答 金婚米寿祝賀会は、昭和53年頃から平成30年まで41回開催してきました。高齢者人口は増加傾向にありますが、参加者は減少しており、米寿者の参加状況は3割程度、金婚者については独居との公平性、結婚50年を調査する情報制約等があり、対象者の正確な把握が難しい状況であります。今後は家族や地域でお祝いをしていただく方向で検討してもらいたい。



優良牛の保留に努めるべきでは？

問 サッカースタジアム建設の進捗状況、経済効果、不測の事態が発生した場合の対策について伺います。

答 サッカースタジアム建設の進捗状況については、現在町による用地の造成工事が完了し、今後はテゲバジャーロ宮崎によるJ3基準スタジアムの建設が順次始まる予定です。本町への経済効果は、年間で約3万から5万人が来町し、年間約1億6千万円から2億3千万円の観光消費が見込まれる。不測の事態は発生しないよう、双方で緊密な連絡と調整を行っていきます。

問 移転対象の条件はどのようなものか伺います。

答 国は自衛隊や在日米軍等の航空機の離着陸等の頻繁な実施により生ずる音響により、その障害が特に著しいと認めて防衛大臣が指定する区域を第2種区域としております。この2種区域から区域外に移転を希望される方に対し、建物等の補償や土地の買い入れを行っております。



サッカースタジアム建設の進捗状況は？

問 年金受給者の貧困対策について伺います。

答 現在年金の基礎部分にあたる老齢年金は、満額受給される方は年額約78万円で月額は6万5千円程度となり、特に単身世帯におかれましては年金だけで生活するには厳しい状況であるうかと思えます。今のところ生活困窮状況に応じ、生活保護等による支援等が行われております。



吉田 貴行 議員

国保税の子どもへの課税見直しを

町長 子どもの減免について検討

問 国民健康保険制度について
 ①国保税の引き下げについて。
 ②町独自の減免制度の拡充について。
 ③子どもまで課税する均等割の見直しについて。

答
 ①今回は基金の取り崩しなどで税額の急増を抑えています。
 ②県が設置している国保広域化等連携会議における協議を踏まえ、検討していきます。
 ③子どもの減免について、今後、検討してまいります。



問われる防災対策

問 新田原基地の問題について、
 ①緊急時とはどのような事態で、誰が判断するのか。
 ②地上騒音対策は、この間どのような対策がとられてきたのか。
 ③空調機等の取替えはどう改善されてきたのか。

答
 ①緊急時とは、我が国の安全並びに極東における国際平和及び安全の維持に係る様々なケースが考えられ、緊急時の使用を判断する主体、基準等について一概に申し上げることは困難です。
 ②現在の対策では十分とは言えず、軽減対策を国に強く要望していきます。
 ③本年度の復旧工事の早期執行を強く申し入れたところです。



新田西地区の圃場整備は？

問 防災対策について
 ①かもめ台団地等の防災対策について。
 ②町営住宅の防災対策について。

答
 ①かもめ台団地等の防災対策については、自主防災組織の育成などを考慮した避難計画の検討が必要と考えています。
 ②町営住宅の中層耐火構造の住宅につきましては、施設の防災対策に努めてまいります。

問 新田地区の農地整備事業は。
 ①進捗状況について。
 ②事業と合わせて、町独自の取り組みは考えていないのか。

答
 ①大和地区は、本年度、換地を終了し、実施設計と一部パイプライン敷設工事を行い、来年度工事に取りかかる予定。新田西地区は、令和3年事業採択に向け、事業計画作成と農地利用の意向調査を行っています。
 ②大和地区については、1・8ヘクタールの非農用地の設定を行い広場用地として創設換地を行う計画です。新田西地区につきましては、今後、地元の声を聞きながら、検討してまいります。また、それぞれの事業周辺から、排水対策や生活道の整備の要望もあがっているので、事業にあわせて、関係各課及び地元と調整していくことが必要と考えています。

臨時議会議案及び議決結果

議案審議

議 案	議決日	可 否
専決処分（平成30年度新富町一般会計補正予算）	5月8日	原案承認
専決処分（平成30年度新富町国民健康保険特別会計補正予算）	〃	〃
専決処分（平成30年度新富町介護保険特別会計補正予算）	〃	〃
専決処分（平成30年度西都児湯情報公開・個人情報保護審査会特別会計補正予算）	〃	〃
専決処分（新富町税条例の一部を改正する条例）	〃	〃
専決処分（新富町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	〃	〃
専決処分（新富町介護保険条例の一部を改正する条例）	〃	〃
新富町税条例の一部を改正する条例	〃	原案可決
監査委員の選任について	〃	原案同意

6月定例議会議案及び議決結果

議 案	議決日	可 否
令和元年度新富町一般会計補正予算	6月14日	原案可決
令和元年度新富町国民健康保険特別会計補正予算	〃	〃
令和元年度新富町介護保険特別会計補正予算	〃	〃
令和元年度新富町土地取得特別会計補正予算	〃	〃
令和元年度新富町水道事業会計補正予算	〃	〃
公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃
新富町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	〃	〃
災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃
新富町水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃
物品売買契約の締結について（令和元年度 富田小・中学校校務用パソコン購入について）	〃	〃
教育委員会委員の任命について	6月3日	原案同意
専決処分の承認について(損害賠償の額を定め和解することについて)	報 告	
専決処分の承認について(損害賠償の額を定め和解することについて)	〃	
平成30年度新富町繰越明許費繰越計算書について(新富町一般会計)	報 告	
平成30年度新富町事故繰越繰越計算書について(新富町一般会計補正予算)	〃	
平成30年度新富町繰越明許費繰越計算書について(新富町土地取得特別会計)	〃	
平成30年度一般財団法人こゆ地域づくり推進機構の決算に関する書類の提出について	提 出	
平成31年度(令和元年度)一般財団法人こゆ地域づくり推進機構の事業計画及び収入支出予算書の提出について	〃	
平成30年度教育に関する事務の管理及び執行状況点検・評価の提出について	〃	
教育委員会教育長の任命について	6月14日	原案同意

議 会 活 動



九州防衛局へ要望書を提出

基地対策特別委員会

要望活動は継続的に

令和元年6月18日～19日にかけて基地対策特別委員会は、議長ならびに町長に同行いただき、議会構成後初の要望活動を次のとおり実施しました。住宅防音対策、騒音問題等、町民、商工会等の意見を踏まえ、九州防衛局および熊本防衛支局に要望書を提出しました。

九州防衛局

〈主な要望内容と回答〉

要望 住宅防音工事待機世帯の解消と告示後住宅の早期着工に努めること

回答 住宅防音工事の待機世帯早期解消のため、令和元年度当初予算は前年度同額の20億円余を確保。引き続き予算確保に努めたい。告示後住宅の防音工事については、現在85W以上の区域に所在する住宅の一部に実施。その他の告示後住宅は全国の飛行場の対策や新田原飛行場の騒音状況などにより、改めて相談させていただきたい。

要望 新田原基地の緊急時使用のための施設整備については周辺自治体等に具体的な説明をすること

回答 基地の緊急時使用の施設整備は昨年度から調査設計を開始。今後とも地元の理解を得ながら丁寧に対応させていただきたい。

要望 十分な地上騒音対策を講じること

回答 できる限り深夜等、エンジンの試運転を控えるよう努力。また、サイレンサーの使用や風向きを考慮し、可能な限り騒音防止に努めるなど、効果的な対策を重ねています。

熊本防衛支局

要望 基地関連の入札は、町内事業者への優先発注に努め、入札事務を宮崎事務所で実施すること

回答 入札は地域評価型総合評価落札方式により実施し、電子入札に加え郵送による紙面入札も受付けており、地元企業にも応札できるように配慮しています。

要望 一般競争入札は1000万円以上とし、それ未満の事業については町内事業者への優先発注に努めること

回答 金額にかかわらず一般競争入札を実施しています。

まとめ

今回、地上騒音対策をはじめ、様々な課題の改善に向け要望いたしました。

住宅防音工事待機世帯の解消については、昨年度より重点的に予算配分するなど改善がみられました。

また、米軍の緊急時使用に伴う施設整備は、住民の理解が十分得られるよう、説明会の開催等をはじめ、正確かつ丁寧な対応を求めました。

今後とも、執行部と密に連携をとりながら、要望活動を継続してまいります。



熊本防衛支局へ要望書を提出

しんとみトピックス

宮崎県新富町議会だより



初当選の新人5人です
よろしくおねがいします



消防操法大会
訓練の成果を発揮しました



こゆ朝市の風景
そばの早食い「5杯食ったど!」



新田神楽
神戸公演大成功

■発行責任者／新富町議会議長 永友 繁 喜

町民の声

まだ食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」

日本では年間643万トンの食品ロスが発生、この量は日本人1人当たり換算すると毎日、お茶碗約1杯分のごはんを捨てている事に相当するそうです。

さっそく我が家の冷蔵庫の中をチェック、賞味期限の切れたもの、いつ買ったのか不明なものがズラリ…。まず風通しの良いすっきりとした冷蔵庫にしよと何が入っているか一目瞭然にする、使い切る。無駄なものを買わない。小さな努力を足元から…。

只今、冷蔵庫の中の「断舍離」実行中。

新田60歳代女性

編集後記

平成が終わり、令和とも新しい顔ぶれの議員構成でスタートを切りました。初めて経験する事ばかり。いくつになっても勉強を重ね研鑽を積むことは大切であると実感しております。

今回、40代で最年少の私と女性2名も加わりました。新しい視点と感性で議会活動に取組めばと思います。議会だよりも次号からはリニューアルしたいと考えております。新しい紙面にご期待ください！

石崎俊二

議会広報特別委員会

委員長 石崎 俊二
副委員長 小山 早苗
委員 松浦 美緒
出口 喜重郎
大木 俊二
吉田 憲市

※連絡先 議会事務局

TEL 33-6139

■印刷／あゆみの里